

新企画 氷河と遊牧文化が息づくモンゴル最奥の辺境を歩く

お申込みは  
こちら

# モンゴル西端アルタイ山脈 タワン・ボグド縦走トレッキング 12日間

モンゴル西端、文明の届かぬアルタイ山脈の奥深く車道の尽きる先から歩き始めるタワン・ボグド山群を歩くトレッキングです。モンゴル最高峰フテイン山(4,374m)を擁するこの地域は万年雪を頂く峰々、氷河、高山湖、星降るキャンプ地が広がる秘境です。世界遺産「アルタイの岩絵群」、伝統音楽鑑賞など、自然と文化の両面から遊牧民の暮らしが今も息づくモンゴル西部の魅力を体感。

発着地 東京

歩行時間		宿泊高度		宿泊施設	
出発日～帰国日		旅行代金		8 / 18(火)～8 / 29(土)	¥774,000

●燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約16,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはウランバートルからウランバートルまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝10回、昼10回、夕10回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。ウランバートル/フラワー・ホテル
- 一人部屋利用追加料金：**¥56,000**(テント泊、ロッジを除く)
- 利用予定航空会社：モンゴル航空、エアモンゴリアン、ユナイテッド航空、大韓航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## モンゴル西部の大自然、 遊牧文化に出会う

モンゴル・ロシア・中国が交わる西端の地、アルタイ山脈。氷河を戴くタワン・ボグドの峰々と果てしない草原には、モンゴル帝国の記憶と遊牧民の暮らしが今も残されています。ウルギーからホブドへ抜ける本格縦走は、歩くことでしか辿り着けない世界。自然と文化の奥行きを体感する12日間です。



▲アルタイ山脈の大地と圧倒的な山岳景観

## モンゴル最高峰フテイン 秘境で過ごすキャンプ体験

モンゴル最高峰フテイン山(4,374m)を擁するアルタイ・タワン・ボグド山群。氷河、万年雪、広大な谷と高山湖が織りなす圧倒的スケールを体感します。



▲モンゴル最高峰フテインと広大な氷河

アルタイ山脈の懐深く、大自然でのキャンプ泊。夜には満天の星、朝には澄み切った空気と静寂が広がります。都市生活では味わえない「何もしない贅沢」を体験できます。



▲圧倒的なスケールの山岳地帯を進む

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 ウランバートル 着	東京発→ウランバートルへ。市内のホテルへ。ゲル(遊牧民の住居)と近代的な高層ビル、仏教寺院が共存する首都ウランバートル(1,350m)は、モンゴルの過去と現在が交差する高原都市です。 【ウランバートル泊 (H)】
2	ウランバートル 発 ウルギー 着 ナイラムダルの丘ハイキング	早朝→国内線で一気に西モンゴルへ。アルタイ山脈の麓に位置し、カザフ系民族の文化が色濃く残る町ウルギー(1,710m)へ。市内とホブド川を見下ろすナイラムダルの丘へハイキング。 【ウルギー泊 (L)】
3	ウルギー 発 ツェンゲル周辺 着	未舗装路を走りツェンゲルへ(約4時間)。途中、青銅器時代に造られた石碑(ディアストーン)と古代墳墓群を見学し、草原と岩山が交互に現れるアルタイの山岳地帯を進みます。人の気配が次第に薄れ、遊牧民のゲルが点在する原風景の世界へと入って行く頃、アルタイ山群を望む絶好のキャンプ地(2,000m)に到着。 【ツェンゲル周辺泊 (T)】
4	ツェンゲル周辺 発 ツァガーンゴル 着 モンゴル・アルタイの岩絵群	世界遺産「モンゴル・アルタイの岩絵群」を訪れ(約3時間)、約1万2千年前まで遡る岩刻画や、古代トルコ系民族の石人像(バルバル)などを見学します。ツアーガンゴル渓谷を辿り、緩やかな草原、遠くに連なるアルタイの峰々を眺めながらツァガーンゴル(2,300m)まで歩く穏やかなトレッキング(徒歩3時間)初日です。 【ツァガーンゴル泊 (T)】
5	ツァガーンゴル 発 タワン・ボグド・ベースキャンプ 着	「五つの聖なる峰」を意味するタワン・ボグド山群が徐々に近づき、氷河を抱く峰々やモンゴル最高峰のフテイン山(4,374m)を含む神聖な山域の核心部へ進み、タワン・ボグド山群のベースキャンプ(約3,000m)を目指します(徒歩約7時間)。 【タワン・ボグド・ベースキャンプ泊 (T)】
6	タワン・ボグド・ベースキャンプ 滞在 ポタニン氷河・トレッキング	終日、タワン・ボグドの雄大な自然を満喫。ポタニン氷河の末端や4カ国が交わるアルタイの大地と圧倒的なスケールの山岳景観を全身で感じる一日です。 【タワン・ボグド・ベースキャンプ泊 (T)】
7	タワン・ボグド・ベースキャンプ 発 ツァガーンゴル 着	刻々と変わる光と影が山肌を染め、アルタイ山脈の静けさと奥深さを改めて味わいます。ツァガーンゴル川沿いを下りツァガーンゴルへ(徒歩約6時間)。 【ツァガーンゴル泊 (T)】
8	ツァガーンゴル・レンジャーゲート 発 遊牧民居住地付近 着 遊牧民居住地訪問	遊牧生活を営むカザフ族の鷹匠一家を訪問。代々受け継がれてきた狩猟文化や家庭料理を通して、今も続く遊牧の暮らしを体験します。 【遊牧民居住地付近泊 (T)】
9	遊牧民居住地付近 発 ウルギー 着	午前中は周辺散策後、昼食後 <sup>ウルギーへ(約5時間)</sup> 。夜は地元音楽家のゲルでカザフ民族の楽器ドン・ブルの演奏を鑑賞し、アルタイ文化の余韻に浸ります。 【ウルギー泊 (L)】
10	ウルギーまたはホブド 発 ウランバートル 着	ウルギーまたはホブドから国内線でウランバートルへ。(ホブド発の場合、陸路3時間移動後、空路ウランバートルへ)。午後は自由行動。夜はモンゴル伝統芸能(喉歌・舞踊・長唄)鑑賞とフェアウェルディナーをお楽しみください。 【ウランバートル泊 (H)】
11	ウランバートル 滞在 終日市内観光 モンゴル文化体験の一日	終日ウランバートル市内観光へご案内します。チンギスハーン広場やチベット仏教寺院ガンダン寺、博物館などモンゴルの歴史と文化を学びます。旅の締めくくりは、ホーミーや馬琴頭などの演奏を鑑賞しながら郷土料理をお楽しみください。 【ウランバートル泊 (H)】
12	ウランバートル 発 東京 着	ウランバートル発→東京へ。 

\*航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。